

Rotary SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長: 増本 一也 幹 事: 松尾 文隆
事務所: 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場: 佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 28 年 12 月 14 日

第 3,241 回例会

NO 22

【本 日】 会員数 78 名 (出席免除会員 24 名) ・ 出席 57 名 ・ 免除者欠席 14 名 ・ 欠席 10 名 ・ ビジター 2 名 ・ 出席率 73.08 %

【前々回】 会員数 78 名 (出席免除会員 24 名) ・ 出席 58 名 ・ 免除者欠席 5 名 ・ 欠席 15 名 ・ メークアップ 15 名 ・ 修正出席率 100.00 %

会長挨拶

会長 増本 一也

「ロータリーの友12月号」に、日本で初めてロータリークラブを設立した米山梅吉氏がロータリーの創始者 ポール・ハリスから一冊の本を贈呈された話が掲載されていました。ポール・ハリスの自叙伝ですが、これを多くの方々の目にふれさせようと、米山梅吉が和訳して出版しました。米山梅吉は、この書物で最も感を深くする点が3つあると言っています。



第1は、ポールの態度が如何にも敬虔^{けいけん}で、ロータリーのような大運動を起こした人には似合わない程、遠慮がちであること。第2は、彼はすこぶる文学的天分に富んで全編の文を進めていること。第3は、真^{まこと}に躬行^{きやうこう}実践の人で、艱難^{げんなん}辛苦^{しんく}を嘗めてきたその生涯から得た温かい人情味が、一貫して友好の重要性を知らしめていること。

ロータリーの精神もそこから出発して「己が他より施されんと願うごとくに施せ」という、古き真理が、新しき輝きを以て、人生を有意義なものとするに与^{あずか}って力あるということです。

ポール・ハリスの出生から幼年期、学生時代、方々を旅しての経験、弁護士開業、ロータリーへの経緯から「妻と家庭」など、ポールの人生回顧ですが、当時の和訳で言葉が少々難解だそうです。

今年も、いよいよ来週の例会が最後となります。そして、今週の土曜日は、忘年家族会です。新会員をはじめ、親睦活動委員会の総力を

結集して、本当に楽しいクリスマス会にしたいと思います。是非、ご夫婦、ご家族でのご参加をよろしくお願い致します。

例会記録

- ロータリーソング「四つのテスト」
- 卓話者
佐世保コーチングオーガナイゼーション
代表 光武 哲郎 様
- ビジター
佐世保南RC
里浦 徹さん
篠原 政幸さん

幹事報告

幹事 松尾 文隆

1. 一般社団法人 ロータリーの友事務所
委員長・代表理事 清水 良夫さん
所長 渡辺 誠二さん
2015-16年度 事業報告
2. 2016-17年度 崎永 剛ガバナー事務所
年末年始休業のお知らせ
2016年12月29日(木)~2017年1月5日(木)
3. 駒井英基ガバナーエレクト事務所
年末年始休業のお知らせ
2016年12月29日(木)~2017年1月5日(木)
4. 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
奨学会ニュース「ハイライトよねやま201号」
が届いております。

5. 佐世保市心身障がい児(者)育成協議会
会長 土井 庸正 様
佐世保市心身障がい児(者)育成協議会入会のお礼が届いております。

委員会報告

■親睦活動委員会 委員長 中村 徳裕
「忘年家族会のご案内」

12月17日(土) 18時30分より、佐世保玉屋7階文化ホールにおいて、忘年家族会を開催します。是非、ご家族お誘いあわせの上、ご参加くださいますよう、あらためてご案内申し上げます。



■ローターアクト委員会 委員長 大神 吉史

12月8日、ホテルオークラJRハウステンボスにて、第151回例会が開催されました。例会のメインテーマは、佐世保市内または県外へ出向き、あらゆる気持ちや思いなどを、雨にも負けず風にも負けず、絵や字を看板として拡大表示されている古賀 巖さんの卓話でした。その内容は、卓話ではなく、写真のスライドショーにて、島瀬公園のイルミネーションを大学生に見せて優越感を得られていました。しかし、その例会後、松尾 貴さんがiPhoneの動画で素晴らしく撮られていた、グランドハイアット福岡の3Dマッピングの方がインパクトがありましたことを報告とさせていただきます。



■国際奉仕・姉妹クラブ委員会 委員長 池田 真秀

ラホヤRC70周年記念式典・姉妹締結更新訪問のご案内

佐世保RCと永年姉妹クラブとして友好関係を築いているラホヤRCが、来年4月に創立70周年を迎えられることになりました。

皆様ご承知のとおり、佐世保RCの諸先輩のご尽力により国際化社会を見据えて友好関係を構築し、永年に渡り相互訪問を通して友情を育み現在に至っております。



つきましては、70周年のお祝いの記念式典に会員の皆様とご家族様で参加いたしたくご案内申し上げます。

後日、案内状を配布致しますので、平成29年1月20日(金)までに事務局宛にFAXにてご連絡ください。

多くの会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。

- ①式典日程／ラホヤRC70周年記念式典 4月7日(金)
- ②訪問日程／平成29年4月5日(水)～4月10日(月)
4泊6日
- ③訪問先／ラホヤ La Jolla
(米国カリフォルニア州サンディエゴ市近郊)
- ④費用／別紙の基本コースは概算の費用とさせていただきます。

※別途説明会を開催します。ふるってご参加ください。

会葬のお礼

溝口 尚則

先日の父(元会員 溝口 孝)の葬儀につきましては、過分なるご香料やお悔やみを頂戴いたしまして、誠にありがとうございました。

慶 祝

親睦活動委員会 前田 恭宏

○今月の誕生祝い

- 長島 正さん (5日)
- 菅沼宏比古さん (21日)



雑誌の時間

出席・例会委員会 星 裕

「ロータリーの友」12月号を読んで

「ロータリーの友」12月号の巻頭でジョン・ジャームRI会長は、『エンジニアは、目立つ存在ではないものの、日ごろ何気なく使っているエレベーターや自動車、信号機システムなどをきちんと整備することで、皆さんの安全を守っている。エンジニアに限らずどの職業も、職業を通じて人がより良く、安全で健康な生活を送る助けになっている』と語っています。ロータリーの職業奉仕の理念に繋がる話かと思えます。

私もエンジニアで、電力の仕事をしています。日本は今、理系離れが進展しており、困った状況にあります。「ものづくり日本」、「技術立国日本」と言われて久しく、今では、小学校で理科を習うのは3年生からとなり、しかも週4、5時間だったのが3時間に減らされています。そのため中学になると理科嫌いが増えるということです。

電気事業を支える優秀な学生を確保するのが深刻な問題となっており、このため、平成20年に電気工学分野の産業界と大学・高専の先生たちが全国的に連携し「パワーアカデミー」を立ち上げ、研究や教育を支援する活動を始めています。また、九州では独自に「九州パワーアカデミー」を組織し、先生方とネットワークを作って、学生の育成、さらには電気工学の魅力を次世代に知ってもらうような活動を展開しております。

さて、「ロータリーの友」に戻って、「ロータリーアットワーク」のコーナーに、函館五稜郭RCの「青少年のための科学の祭典函館大会」への支援の記事があります。助成金を出すに留まらず、会員自身が実験ブースを作って、アイスキャンディーづくりや段ボールの空気砲などを実演に、子どもたちに科学に興味を持ってもらう活動をされたというものです。このように小学生から科学に興味を持ってもらうことは、将来の優秀な技術者を確保、育成する第一歩だと思います。

九州電力でも「九電みらいの学校」という活動を展開しており、相浦発電所でも地元の小学校に呼んでいただく「出前授業」を実施しております。子供たちの目がきらきらしているうち



は、日本の未来も明るいのではないかと考えています。そんなこんなで、遠く北海道の地でも、ロータリアンが子供たちに科学の楽しみを教えているんだと感心したということで、この記事を取り上げました。以上

ニコニコボックス

親睦活動委員会 西田 勝彦

佐世保南RC 篠原 政幸さん、里浦 徹さん

佐世保南ロータリークラブの篠原、里浦です。本日はメイクアップで訪問させていただきました。よろしくお祈りします。

増本 一也会長、松尾 文隆幹事

田中 信孝さん

本日の卓話者、光武哲郎様の卓話に期待して。

下田 弥吉さん

南ロータリークラブ篠原さんのご来訪を歓迎します。

長島 正さん

誕生日のお祝いありがとうございます。

ニコニコボックス

本日合計 7,000 円

累計 545,000 円

卓 話

『コーチング型マネジメントのご提案

～自ら考え、自ら動く組織をつくるために～』

佐世保コーチング
オーガナイゼーション

代表 光武 哲郎 様

(ビジネスコーチ・社会保険労務士)



本日のテーマであるコーチング。その元となる「コーチ」という言葉の歴史は古く1500年代までさかのぼります。コーチの語源は「馬車」であり、当時の東欧で馬車を作っていた村の名前にちなみその名がついたと言われていました。またそこから「大切な人をその人が望むところまで送り届ける」という意味にも派生していき

その後、1880年代になりようやく今日の私たちがコーチと聞いてもっともイメージするもの一すなわち「スポーツの指導者」をコーチと呼ぶようになり、さらに1950年代になるとビジネスの分野にもコーチングの考え方が広まります。スポーツの選手にコーチを付けて成績が上がるのなら、経営者や組織にもコーチを付けると業績が上がるのではないかと合理的に考えた人々のいた国、アメリカでのことでした。

1990年代に入るとアメリカではコーチングは管理職の必須スキルとされ、ビジネスコーチという職業も確立されました。我が国では1990年代の後半から徐々に企業に導入され、2000年代以降から今日にかけては経営者コーチング、管理職の部下指導研修、医療介護業界の接遇研修、教育業界の能力開発スキルといった日常の様々な場面でコーチングの考え方が使われています。これは、日本人のコミュニケーションスタイルが多様化し「マス」から「パーソナル」に転換するタイミングと時を同じくしています。またこの頃を機に日本社会は、少子高齢化、日本型経営の崩壊、IT導入による生活のパーソナル化、価値観の多様化など以前とは異なる新しい時代に突入しているといえます。

そうした現代にあって、高度経済成長期に端を発する大きな集団に対して同じ内容、同じ方法、同じ速度でコミュニケーションする画一的な「マス」のやり方と、相手に合わせてコミュニケーションの内容、方法、速度を変えていく「パーソナル」なコーチングの手法を比較した時、どちらが有効に機能するのかは論をまみません。特に、過重労働問題、離職率の増加、ゆとり世代社員とのコミュニケーションなど、昨今、人に関する問題が浮き彫りになっている企業組織におけるコミュニケーションにこそ、相手を尊重し承認した上で相手の能力を引き出していくコーチングの手法が有効になってくるのではないかと考えます。

経営者や管理職の方からは「企業は人なり」「従業員は会社の財産」という、社員を大切にされたいとの想いが詰まったお言葉を良くお聞きします。素晴らしいお考えですし異論はありません。ですが「では具体的にどのように

大切にされているのですか？」とお聞きすると「実のところ何をして良いのかわからない」あるいは「意識はあるが具体的には何もしていない」という方が多いというのも残念ながら事実です。

コーチングはその根源に相手を尊重し承認するという哲学が流れています。その上で、目標設定をしたり質問をして相手の能力やアイデアを言葉にし具体的な行動を引き出していきます。人は、承認された上で話をしっかり聞いてくれる相手に対して「自分は大切にされている」と思うようになり、さらに自分を大切にしてくれる人を大切にできる生き物です。つまり従業員の方に「この仕事やこの会社は私にとってかけがえのない大切な存在」と心から思ってもらうための仕組みづくりのひとつ、それがコーチング型マネジメントなのです。以上

* 12～1月 例会卓話者予定 *

12月28日 指定休会日
1月4日 指定休会日
1月11日 クラブ協議会
1月18日 クラブ協議会
1月25日 新会員 橋詰 文雄さん
(NTTビジネスソリューションズ(株)佐世保支店長)

* 西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定 *

日時／1月17日(火) 17:00～
会場／西海学園高等学校 記念館 会議室

* 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 *

日時／12月21日(水) 18:30～ クリスマス例会
会場／ホテルオークラJRハウステンボス

*西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、メイクアップにもなりますのでご活用ください。
*RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当：松本 淳也)

(カメラ担当：山口 剛史)

クラブ会報委員会

委員長 平尾 幸一
副委員長 石田 謙二

委員 田中 信孝・西村 一芳・松尾 貴
松本 淳也・筒井 和彦・山口 剛史